

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

令和 3年 3 月 24 日

岡山市長 大森 雅夫 様



フリガナ だいにふじたがっくだいきほさいがいたいさくいいんかい
団体名 第二藤田学区大規模災害対策委員会

所在地

連絡先

フリガナ いいんちょう えんどう たろう
代表者役職・氏名 委員長 遠藤 太郎

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) ○ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	大規模災害に備える安全安心な二藤作り
事業実施区域 (小学校区)	第二藤田小学校区
① 事業実施内容	<p>※実施事業の概要(200字程度)をご記入ください。 ※事業実績を示す写真(事業内容ごとに2枚程度)、作成した報告書やチラシ等を添付してください。 アンケート等を行った場合は、集計結果を添付してください。また、新聞等で取り上げられた場合は、その写しを添付してください。</p> <p>今年度は、大規模災害を想定し、また、新型コロナウイルス感染拡大の元で、感染対策を施した避難所のあり方を検証するものであった。 避難所への入場の際しての検温・手指消毒・受付業務のあり方、体育館内に最低1メートルの間隔をとった区画作り、パーティションや簡易ベッドの作り方の演習なども行った。 同時に、おむつ交換や授乳のテントも用意した。トイレも、車椅子で実際使用できるかのチェックも行い、模擬感染者の方もお願いし、感染者用の部屋に看護師を付けて待機してもらった。 ペット同伴にも備え、担当者の配置と犬・猫同伴の方にも参加してもらった。 3月には屋外の催しとしてウォーキングと炊き出し訓練も行い、ロープでの動線確保・テントへのビニールカーテン設置など行った。</p>
② 解決を目指した課題	<p>感染対策を施した避難所運営では今までの定員に対して4割以下となることが明らかになった。</p> <p>岡山市は避難所を増やす方針を発表したが、教室の開放も行って、「避難者を断らない」立場で取り組むことの大切さを認識した。</p> <p>同時に、大規模地震の発生とともに、締切堤防や、児島湖堤防が損壊し、海水混じりの水がすぐ浸入することを前提に、身近なところへ避難場所を作ることが求められており、こうしたことを解決すべく、行政に対して粘り強く働きかけていく。</p> <p>まつりなどでは、受付を限定して感染対策を万全にできるよう取り組むことが求められる。</p>

<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>ア 地域課題解決⇒解決を目指した課題の達成状況 イ 地域課題掘り起し⇒掘り起こしにより明らかになった課題等 ウ 地域計画づくり⇒作成された計画等 エ 地域課題解決型の地域組織づくり⇒目指した地域組織づくりの達成状況 オ その他⇒定めた目標の達成状況</p> <p>など、掲げた目的とその達成状況を記載してください。また事業を実施したことで生まれた新たな効果などありましたらご記入ください。</p> <p>今年度は、避難所開設と真備の教訓を学ぶことを目標にしていた。しかし、新型コロナウイルスの広がりの中で6月予定の避難所開設訓練は9月に延期となり、9月予定の真備から学ぶ講座は中止となった。</p> <p>避難所開設訓練は、9月に感染症対策を充分に行った上で実施することとなった。山陽新聞・RSKイブニングニュースでも紹介されたが、本来岡山市が行うべき訓練を二藤の住民で行うこととなった。</p> <p>コロナ禍でも、この訓練は避けられない物であり、避難所のあり方を検証する取り組みとなり、行政に要望することも明確になってきた。</p> <p>また、3月のウォーキングと炊き出し訓練も、水がない中での炊き出しや、感染対策を施したおにぎりづくりなど新しいことにも挑戦出来た。</p>
<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<p>※実施にあたって工夫したこと、また住民への活動の周知広報の取組とその評価を記載してください。</p> <p>町内会長と災害対策委員合同での実行委員会や、連町合同役員会（いちご会）で感染対策について度々検討し、学区の各組織に呼びかけ、訓練会場前での靴袋渡しから検温、手指消毒、受付、会場案内、感染者対策、ペット対策など分担について検討してきた。</p> <p>感染対策に必要な消毒液から、看護師用の簡易防護服作り、資料やアルファ米などの袋詰め、NTT への171 災害用伝言ダイヤルの手配、資料の印刷、前日の会場準備（体育館の片付けと養生テープで区画作り、発電機や、パーティションや簡易ベッド、発電機などの運び入れ等二藤の全組織が一体となって取り組んだ</p> <p>事前に山陽新聞やRSK、NHK へも取材をしてもらうよう申し入れも行い、参加できなかった人にも知ってもらう努力を行った。結果は、山陽新聞とRSK での報道にとどまったが、反響は大きかった。</p> <p>3月のウォーキングと炊き出し訓練は、野外での取り組みのあり方を検証する取り組みとなった。</p>

<p>⑤次年度計画</p>	<p>※次年度に引き継ぐ課題、今年度の実績を踏まえた次年度計画の概要をご記入ください。また次年度に引き継がず活動を完結する場合はその理由（課題が解決したからなど）をご記入ください。</p> <p>次年度は、避難場所に指定されているパチンコ店の駐車場での避難訓練を予定していたが、店の都合で公園での訓練に変更する。</p> <p>避難所と比べ、避難場所には備蓄品もなく全て住民の自主運営となっている。こうしたところでの訓練は、災害時に公園や個人の倉庫などへの避難とも共通しており、連合町内会の災害対策委員会としてどのような援助や取り組みが必要かを検証できるものである。</p> <p>同時に、避難場所の実態を明らかにするとともに、避難場所への必要な物資など明確にして行政に要請するきっかけになると確信している。</p> <p>9月には、昨年中止した真備町の災害とその後の取り組みなどについて学ぶ。</p>
<p>⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>※事業を実施することを通じて持続可能な地域づくりを進めることができたか、持続可能な地域づくりを担う人づくりにつながったか、地域の課題解決力は高まっているか等、本事業についての自己評価をご記入ください。</p> <p>二藤の取り組みは、まだ緒についたばかりであり、住民が安心してらせるまち作りにはほど遠い。災害はいつ来るかわからないものであり、自助・共助だけでは住民の安全は守れないと思っている。</p> <p>緊急避難場所が身近な所に出来なければ、南海トラフ地震で淡水湖の破堤があってもすぐ避難することは出来ない。</p> <p>今後とも行政に対して真備や平島の教訓にたった施設管理を求めたい。</p> <p>○事業決定時での審査会意見（区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容）</p> <p>「アンケート等を実施しては」の意見があったが、毎回の取り組みでアンケートは実施しており、アンケートに基づいて各種訓練を行っている。</p> <p>今回の訓練の中で多かったのが「収容人数が少なく学校へは行けない。避難所の拡大、公園などに避難塔を作り、近くに避難場所増やしてほしい」という声が多かった。市に対してこれまでもこうした意見をあげているが、ゼロ回答だ。</p> <p>○上記の助言及び意見を受けての事業への取り組み等 (右記のⅠ～Ⅴの該当部分へ○を付け、その取り組み内容、右記の結果となった理由等について記入してください。)</p> <p>毎月のいちご会で各団体から様々な意見も出し合い、まつりのあり方や訓練について議論している。災害時に力を発揮するであろうSNSについての学習も有志で始めており、新しいことにも挑戦している。</p> <p>助言等の内容について、事業へ反映できましたか。</p> <p>① できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった</p>

⑧事業実施経過

※時系列に沿ってご記入ください。事業実施のための準備や打ち合わせ会合日などもご記入ください。補助事業実施決定前の準備活動についてもございましたらご記入ください。

年 月 日	内 容
令和2年 4月	・第二藤田学区大規模災害対策会議の総会中止。
5月	・事務局総務関係会議(役員会)開催 防災訓練や自主防災会結成を進める町内会などの検討 6月避難所開設訓練を延期し9月研修を中止しそこへ変更決定。
6月	・避難所開設訓練を9月に延期。
7月	・ふじた桃太郎どんぶらこまつり実行委員会と併せて防災コーナーについての検討を行う。が中止を決定
9月	二藤体育館にて避難所開設訓練実施
10月	・「ふじた桃太郎どんぶらこまつり」を中止
11月	・役員会開催、自主防災会結成状況の検討と具体化
12月	
令和3年 1月	・学区新年互例会にて取り組みの紹介…互礼会中止
2月	・炊き出し訓練とウォーキング実行委員会の開催
3月	・炊き出し訓練とウォーキング実施。 レジ袋での簡易炊きだし、簡易おにぎり作り、健康チェック、公民館のボランティアグループによるロープ結び、消防団による簡易担架作りなど緊急避難時を想定した訓練と体力作りのためのウォーキングを行う。

事業報告

月日	活動内容
4月	・ 第二藤田学区大規模災害対策会議の総会コロナの影響で延期
5月	・ 事務局総務関係会議(役員会)開催
6月	・ 5日、町内会長会議で避難所開設訓練を9月に延期を決定 9月実施予定の真備町の学習会の中止を決定する。
7月	・ 15日ふじた桃太郎どんぶらこまつり実行委員会でまつり開催中止を決定。
8月	・ 9日避難所開設訓練実行委員会を災害対策委員と町内会長の合同会議開催。
9月	・ 22日避難所開設訓練実施
10月	・ 15日いちご会にて訓練のアンケートについて分析
11月	・ 15日 SNSについての講義を受ける。
12月	・ 15日来年度の計画について検討 第二藤田学区防災会結成を確認、後日結成届け提出
1月	・ 学区新年互例会中止
2月	・ 炊き出し訓練とウォーキング実行委員会開催
3月21日	・ ウォーキングと炊き出し訓練実施。屋外での感染対策を行い、簡易炊飯、簡易おにぎり作りと171災害用伝言ダイヤル練習など緊急避難時を想定した訓練と体力作りのためのウォーキングを行う。

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

(単位:円)

費 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	30,400	30,400	
協賛金	0	0	
負担金	0	0	
広告料	0	0	
寄付、他収入	30,422	30,422	連合町内会他
計	60,822	60,822	

◆ 支 出

(単位:円)

費 目	予 算 額	決 算 額		内 容 <small>(必ず記載してください)</small>
		総事業費額	補助対象額	
消耗品費	48,322	48,832	48,832	インクカートリッジ、防犯ホイッスル、延長コード他
食糧費	0	0	0	
印刷製本費	5,130	5,130	5,130	会議資料・案内印刷他
燃料費	0	0	0	
光熱水費	0	0	0	
通信運搬費	1,260	1,260	1,260	会議案内はがき
広告料	0	0	0	
手数料	0	0	0	
使用料・賃借料	0	0	0	
原材料費	0	0	0	
委託料	0	0	0	
工事請負費	0	0	0	
報償費	0	0	0	
保険料	5,600	5,600	5,600	防災イベント保険代
旅費	0	0	0	
計	60,312	60,822	60,822	